



北限のゆず

ハンドクリーム

北限のゆずハンドクリーム

丁寧に手搾りした岩手県陸前高田の「北限のゆず」を使用したハンドクリーム。酒造りを行なう南部美人が開発したこのハンドクリームには、純米酒のエキスが含まれています。日本酒にはアミノ酸やビタミンが多く含まれており、古来より、酒造りを行なう杜氏は手がきれいと言われてきました。のびも良くしっとりといつまでもソフトな潤いが続き、ゆずの豊かな香りが心を安らげます。

パッケージは岩手県のデザイナー竹村育貴氏が監修したもので、親しみやすいデザインとなっています。日常使いだけでなく、贈り物にも最適なハンドクリームです。ぜひお試しください。



原材料

水、グリセリン、ワセリン、セタノール、ステアリン酸グリセリル (SE)、ミリスチン酸オクチルドデシル、パルミチン酸イソプロピル、ジメチコン、コメ発酵液、ユズ果汁、ポリソルベート60、ステアリン酸グリセリル、プロパンジオール、ミネラルオイル、シア脂、ポリクオタニウム-51、アラントイン、カルボマー、(アクリレーツ/アクリル酸アルキル (C10-30))クロスポリマー、水酸化Na、トコフェロール、EDTA-2Na、フェノキシエタノール、メチルパラベン、プロピルパラベン、香料

容量・価格

1本 (65g)

北限の ゆず 研究会

北限のゆず研究会

陸前高田市を含めた、気仙地方は、「ゆず」の北限の産地とされています。

「北限のゆず」をブランド化する「北限のゆず研究会」が陸前高田市に発足し、復興のシンボルとして、「ゆず」の加工を地元で行い訴求力の高い商品を開発していくことになり、南部美人では、研究会発足当初から参加しています。

▼北限のゆず研究会へはこちらから



北限のゆず研究会の取り組み

南部美人は「北限のゆず研究会」の一員として、2012年より陸前高田市で行われるゆず狩りに参加しています。毎年11月から12月初めにかけて、ボランティアの方々と陸前高田市内の各地をまわり、収穫を行ないます。2015年は5回のゆず狩りを開催し、約140名が参加があったほか、大船渡東高校の生徒30名も収穫体験として参加しました。

陸前高田市の各地で収穫された北限ゆずを原料として開発された商品は、お酒・スイーツ・調味料・化粧品など多岐に渡ります。2015年12月にはJR上野駅構内にて物産展『三陸のもののマルシェ』では、1,695点の商品を販売しました。

その他、大船渡各地への苗木導入や、ゆず栽培の先進地視察を行ない、ゆず生産量の拡大にも力を入れています。



デザイナー 竹村 育貴氏

1981年生まれ。秋田県出身。岩手県盛岡市在住。イラストレーター・デザイナー。 [詳細はこちら](#)

【デザイナーズコメント】

市販のハンドクリームのデザインには、写真やリアルなイラストを活用するものが多いのですが、ゆずを敢えてシンボルマーク化させ。パッケージに配置をしました。

「白色」や「銀色」を使った市販品が多い中、パッケージの色に三陸の海をイメージしたエメラルドグリーンを使い、オリジナル感を強調しています。ゆず特有の爽やかさを表現するため、ゆずのイエローとエメラルドグリーンのコントラストを意識しました。

黄色の三本ラインは三陸の「3」を意識しており、商品デザインの中でアイキャッチになることを意図しています。全体的に強いデザインになっていますが、ハンドクリームのキメの細かさなどを『yuzu』の筆記体で表現し、柔らかな雰囲気を与えました。